

様式第 2 号（第 5 条関係）

事業計画書

事業名称	防災マルシェ 2024	
事業に関わる団体	団体名	役割
	1. NPO 法人市民活動サークル えん 2. CODE for IKOMA	1. 企画調整、会計、当日運営 2. 広報、当日運営
関連する SDG s ※ゴール番号を明記	11、13、17	
事業内容	（１）目的 万が一の災害に個々で備える自助力の強化と、いざという時だけでなく普段から気に掛け合い、助け合えるやさしい地域づくりを目的に、『防災』という一つのテーマについて共に考え学びあう機会を作ります。 （２）対象 大人から子どもまで 200 人を想定 （３）実施方法 2024 年 9 月 23 日（月祝）に、生駒駅北側のにぎわい広場ベルステージにて、防災をテーマにしたマルシェを開催します。 防災に取り組む企業団体等がブースを出し、展示やワークショップ、防災グッズ販売などをおこないます。 生駒市内で活動する企業・団体に出店を呼びかけ、生駒で取り組む防災を発信するほか、陸前高田市を拠点に復興支援をされている団体をゲストにお呼びし、東日本大震災での経験を踏まえてどのような備えが必要かについて発信します。 【事業に関わる団体の役割について】 ①NPO 法人市民活動サークルえん 本イベントの統括（企画の取りまとめ、会計、備品調達、報告書作成）、当日運営 ②CODE for IKOMA 出展企業・団体の募集および取りまとめ、イベント広報、IT を活用した防災の発信、当日運営 （４）補助終了後の見通し	

	今回出店いただく団体とのネットワークを生かしながら、毎年9月に継続開催していきます。
事業の目標・効果 ※関連するSDGsと紐づけ、可能な限り定量的な目標を記載	(1) 目標 防災に関心のある人も、そうでない人も足を運んでいただけるよう、人通りの多いベルステージを会場とし、来場者200名を目標とします。 (2) 期待される効果 来場された方1人1人の自然災害に対する知識と意識を高め、全く備えていない人は、何か1つでも備蓄を置く。ある程度備えている人は、さらなる備えを強化する等、ワンランクアップした行動を取れるようになることが期待されます。 また、CODE for IKOMA と連携して開催することで、ITを活用した防災啓発をおこなう他、CODE for IKOMA のネットワークにより新たな出展団体（陸前高田市で復興支援に取り組む団体など）を呼び込むことが期待されます。
事業完了予定日	令和6年 10月 31日
備考	

※補助対象団体だけでなく、本様式に記載する、「事業に関わる各団体」も、実施団体概要書（様式第4号）を提出すること。

※適宜記載欄を拡大し、詳細に記述すること。

※企画書、チラシ等、事業に係る参考資料がある場合は添付すること。